

高津のまちづくりを考える キラリたかつニュース No.17

2004年5月1日発行：高津区まちづくり協議会

都市計画マスタープラン高津区構想区民提案

素案発表フォーラム開催のおしらせ

～20年後の高津区の都市像を描こう～

6月20日（日） 13時30分から

高津高校会議室にて

—入場無料 参加自由—

都市計画マスタープラン高津区構想部会は、高津まちづくりビジョン委員会からの推薦や公募で集まった市民参加の検討委員会です。約1年半の間、区民と行政のパートナーシップにより、高津区構想区民提案づくりに取り組んできました。今回行うフォーラムでは、地域別・テーマ別に検討した高津区の将来像や方針などを「区民提案の素案」として発表します。

フォーラムでは、素案の発表をした後テーマ別のブースに分かれて、参加者と検討委員が意見交換を行うことを予定しています。今回出された意見を踏まえて区民提案を取りまとめ、今夏に最終発表会を開催し、市長に提出する予定です。

—都市計画マスタープランとは—

都市計画法に基づく、住宅地、商店街、工業地域、公園、道路などのまちづくりを計画的に進めるための基本方針です。おおむね20年後の都市像を描きます。幅広い市民参加を行うことにより、区民の意見や提案を反映させます。

これまでの活動

■第一ステップ（地域情報の共有化）

・情報地図作成（みち、水緑、まち）

■第二ステップ（現状・課題の把握）

・地域別の現状把握（A、B、C、Dの4地区）

■第三ステップ

（テーマ別の現状把握と方針・計画の検討）

・土地利用の方針

・水・みどりのまちづくりの方針

・拠点の方針

・交通ネットワーク整備の方針

トピックス 都市マス委員合宿の報告



合宿での検討風景

都市計画マスタープラン高津区構想部会では多くの委員が積極的に参加して3月6日、7日の両日にかけて市民プラザ内で合宿を行いました。

合宿では

☆「バタン・ランゲージ」によるまちづくりに挑戦

☆フリーディスカッション

☆制度の検討

☆「ああしたい、こうしたい高津のまち」

などをテーマに大いに盛り上がりました。

—バタン・ランゲージとは—

アメリカの建築家クリストファー・アレグザンダーが提唱する「住民参加によるまちづくりの手法」です。この手法を使えば、素人でも自分の家を設計したり、近所の人たちと一緒に自分たちの街をより良くするための計画を立てることができるといわれています。

春になって森は活気づいています

高津区市民健康の森を育てる会

■3月の定例作業日にジャガイモの種、ダンシャクとメイクーンそれぞれ3kgを植え付けました。有機肥料をたっぷり施して土を改良したので、きっと良いジャガイモが沢山収穫できるでしょう。

■ふれあいの森に2月に放流したホタルの幼虫が溪流から上陸するのを、4月初めの夜に確認しました。ほのかに光る幼虫が水中から陸に上がってきて、土の中でサナギになります。上陸から50～60日で成虫となります。昨年と同様、ホタルの光の舞いが見られるでしょう。

■3月の定例作業日に、丘地区で、間伐材にシイタケ菌を500個ほど植え付けました。おいしいシイタケが収穫できるのを楽しみにしています。またその日に、野鳥の巣箱作りや桜の花の観賞会を行いました。

■一昨年11月から始まった毎木曜日の自主活動も、平均すると毎回約17名が参加して地道に実施されました。土曜、日曜の定例作業と相俟って、以前とは見違えるような里山の整備維持環境が実現されつつあります。

■今後の活動予定（5～6月）

〔原則〕毎月第1、3、5日曜日、第2、4土曜日のいずれも午前9:00～11:30に活動します。したがって5月は、2(日)、8(土)、16(日)、22(土)、30(日)が、6月は、1(火)、6(日)、12(土)、20(日)、26(土)が活動日です。この中で収穫祭（ジャガイモ、タマネギ）やホタル鑑賞会などが計画されていますが、詳細は第4頁右下の事務局にお問合せ下さい。

■私達は「ゆっくり、みんなで、楽しみながら」を合言葉に高津区市民健康の森を育てています。ぜひ皆さんも参加してください。皆でお待ちしています。



しいたけ菌の植え付け

“高津のももちゃん”誕生

私の高津のお気に入り百選委員会

「私の高津のお気に入り百選2004年」が刊行されました。

2003年9月から整理・編集を行ってきた「高津のももちゃん 私の高津のお気に入り百選2004年」がこの4月に冊子として完成しました。一部300円で販売されています。

「高津のももちゃん」は、“私の高津のお気に入り百選委員会”のメンバーが、高津区にあるまちづくり資源を整理してまとめたまちづくり資源集です。

「高津の風景」「高津の暮らし」「高津の活動」「高津の歴史」の4つに分類されており、高津の美しい風景や活気を感じられる区民の暮らし、今に引き継がれる高津の歴史といった様々な高津の資源が写真とともに掲載されています。この中には普段何気なく通り過ぎていて気付かずにいた高津の魅力がたくさん詰まっています。

ぜひこの冊子を手にとり、高津のまちの活力や息吹を感じてください。“私の高津のお気に入り百選委員会”のメンバーは「高津のももちゃん 私の高津のお気に入り百選」をきっかけに、今後さらに高津の魅力が増え、個性輝く高津に育っていくことを願っています。



円筒分水の春

講演会 “どう選ぶ・終のすみか” 開催！

～有料老人ホームの選び方～

研究部会 高津の福祉を考える会

老いてからこそ自分らしく豊かに暮らしたいと願う方が多くなりました。しかし老年を自宅で過ごすことが難しい場合には、介護つき施設など多様な施設からの選択が必要になります。

そこで今回、“どう選ぶ・終のすみか”と題し、施設の実態や問題点、紹介パンフレットの見方などから施設の選択の仕方までを掘り下げた講演会を企画しました。講師に滝上宗次郎先生をお迎えして4月16日（金）午後1時30分から約2時間に亘り高津区役所会議室において開催されたこの講演会は、参加者が100名を越える大盛況でした。



講演会の風景

お話の概要は次の通りです。

1. “終のすみか”の選び方のポイント
 - ・建設地の市区町村の財政状態は良いか？
 - ・ホーム職員の入居者への対応が良心的か？
 - ・ホームの介護体制・職員数が充分であるか？
 - ・入居契約書の内容をチェックする。
 - ・入居時の年齢をよく考慮する（余命との関係）。
2. 最近の有料老人ホームの傾向
 - ・価格が高騰化、誤大広告・儲け主義の増加。
3. 社会情勢
 - ・要介護認定者・在宅サービス利用者が増加傾向。
 - ・在宅の中でも住宅系サービスが増加傾向。

高価な買い物でもあり、よく調査してしっかりしたホームを選ぶよう心掛けたいものですが、皆さんはどうされますか？

*滝上宗次郎先生プロフィール

1952年生まれ。有料老人ホーム（グリーン東京）社長、公正取引委員会（有料老人ホーム検討委員会）委員、東京女子医科大学・先端生命医科学研究科 講師。

『パンプーフエスタ2004』を開催

SAI22（旧若者部会）

SAI22では、16年度も高津区の「まち」の魅力をより多くの皆さんと共有することを目指すとともに、高津区の「まち」がより素晴らしい「まち」になるように活動をしていきます。

昨年度に引き続き、たかつ通信『彩・祭・才』（季刊誌）の発行や、まちかどアンケート調査等を行います。より多くの皆さんにご協力いただけると嬉しいです。

また、SAI22では、20代の若者を中心として活動しております。新年度を迎え、何か新しい活動をしたい皆さん、ぜひ一度私たちの活動を見に来てください。

30歳未満の方でしたら、どなたでもSAI22に参加できます。

■SAI22の活動予定を紹介します。

1. 都市計画マスタープラン高津区構想部会の皆さんと下記のイベントを行います。高津の「まち」の未来を考えてみませんか。

『パンプーフエスタ2004』

・日程：平成16年6月5日（土）

・場所：溝口駅前キラリデッキ 他

2. 季刊誌・たかつ通信

『彩・祭・才』の夏号を発行（平成16年5月）



平成15年度の活動風景

*SAI22

サイニンニンと呼びます。まちづくり協議会の中で貴重な存在である「若者部会」として活躍していましたが、更に新しい発展を期してSAI22と名付けました。

活発な広報活動を行っています

広報委員会

「高津区まちづくり協議会PR」を作成しました。これはカラーの4ページ建てで、一般区民の皆さんにまち協をもっと知っていただき、積極的に参加していただきたいとの思いを込めたもので、各委員会・部会、事務局と協力して作成しました。

通常活動としては、久しぶりに4ページ建てに戻った「キラリたかつニュース」第17号の編集を行いました。各委員会・部会の記事のほか、「たかつ健康づくり協力店」関連の連載も企画しました。

またホームページについては、今後4ヶ月ごとに大きな更新を行うことにしましたが、今回は5月下旬に更新する予定で鋭意制作を進めています。トップページの装いを新たにすのほか、各委員会・部会の内容もそれぞれに新しくする予定です。このほか、6月20日に開催する都市マスマフォーラムについて、PR方策の検討に参画したり、チラシの制作などの活動を行いました。

区民活動ルームの立ち上げに向けた検討会

区民活動ルーム設立準備会

今年度、高津区では、各区で運営している区民活動コーナーを作ろうとまちづくり協議会の委員により検討を重ねています。

久本にある福祉施設「ちどり」の3階にある会議室(3部屋)を使って、区民が主体的に運営する区民活動拠点として、印刷や打合せなどができる部屋の確保を考えています。

現在7回の検討会を重ねて区民活動ルームの設置及び管理運営について基本的な内容を作り出しています。検討内容は、区民を主体とした管理運営をするには、どう対応したらよいか。開館時間、使用料など多くの団体に気持ち良く使ってもらうには、どうしたらよいかを考えていきたいと思っています。



区役所の組織が変わりました。

3月末をもって区政推進課は発展的解消を遂げました。4月から「地域振興課まちづくり担当」と名称を一新し、担当も井出課長、久喜副主幹、長井職員へと変わりました。

「たかつ健康づくり協力店制度」のご紹介

たかつ・食の元気安心推進協議会委員長
田邊 弘子

昨年4月に一般参加を含む13団体・15名で『たかつ・食の元気安心推進協議会』が発足しました。食と健康づくりに関する課題を考え、方策検討と事業実施を通し、区民が自ら健康づくりができるまちづくりを目指しています。誰もが安心した食生活を送るために、飲食店の方々にぜひ健康を配慮したメニュー提供や喫食者にやさしい食環境づくりに取り組んで頂きたい「たかつ健康づくり協力店制度」を普及推進しております。

「たかつ健康づくり協力店」とは、安心で健康に配慮した(バランスがよい・高齢者むき・量が選べるなどのいずれか)メニューがおいであるお店で、さらに、栄養成分表示、または誰もがくつろげるようにタバコ対策やバリアフリーのいずれ



かに取り組んでいるとして登録されたお店です。3月末で20店舗登録されました。オレンジ色の「たかつ健康づくり協力店」の認定証をごらんになったら是非お立ち寄りくださりご意見をいただければ幸いです。

たかつ健康づくり協力店の紹介(1)

今後「たかつ健康づくり協力店」制度により登録された飲食店を随時紹介してゆきます。

①久地ガーデン かまど本店(久地駅前:833-0846)

おいしさと楽しさを創造
素材にこだわり、ヘルシーメニューを提供

②日本料理 多摩川(ホテルKSP:819-2211)

健康を配慮した、喜ばれるメニューづくりを目指して



【問合せ・連絡先】

高津区まちづくり協議会事務局
(高津区役所地域振興課まちづくり担当)

Tel:044-861-3133 Fax:044-861-3103

e-mail:67tisin@city.kawasaki.jp

http://www.city.kawasaki.jp/67/67kusei/home/kumin/kumin.htm